

川崎北部市場運送サービス 株式会社

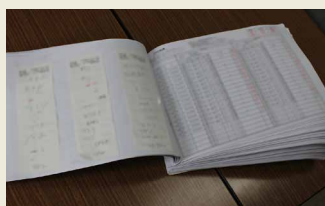
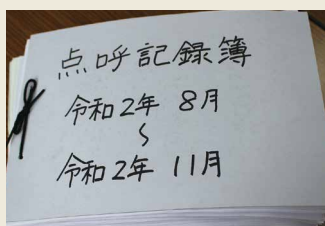
パソコン連動アルコールチェッカーの導入、 保管義務書類にクラウドを活用し、ペーパーレスを実現

生産性が向上し、会話の回数が増え、
新しい取組みにつなげる時間的余裕が出来た。

1 従来の課題

Task

毎日、ドライバーごとに配車表を作成して配布、トラックの鍵の貸出等も手書きで作成していました。業務日報など一定期間の保管義務がある書類も多く、保管場所も必要で、問い合わせの際にスムーズに対応できないという課題もありました。



手書き書類の廃止、紙保管の廃止

酒気帯び有無の確認のため行うアルコール検査も紙ベースの管理となっており、検査装置から出力されるレシートにドライバーが氏名を記入したものを、後で運行管理者や事務員が点呼内容と照合しながら台帳に記帳するとともに、レシートを貼り付けていました。

効率化を実現できました。従来とは異なるオペレーションのため、当初はパソコンに慣れない、難しいという声もありましたが、従来の流れから急に変わるのではないので受け入れのハードルも高くなく、日々のルーティン作業のなかでだんだんと慣れていき今は全員が問題なく使用できるようになりました。



導入したアルコールチェッカー



その他の書類も、スキャナーで取り込んでクラウドにアップすることでさらにペーパーレス化を進めました。スキャンデータのファイル名付けのルール化を徹底することで、データを検索しやすいよう配慮しました。

2 取組概要

Approach

そのため、パソコンと連動したアルコール検査装置を新たに導入しました。アルコールチェック時のカメラ撮影と免許証による認証により、検査したドライバーの確認と記録管理をパソコン上で行うことができるようになりペーパーレス化とあわせて

3 実施効果

Effect

新たな機器の導入により結果として作業削減時間については目標を上回る結果となり、さらにペーパーレス化とクラウド活用により書類の保管場所を省くことができ、データで管理することで手間を削減できました。

取組みを実施するなかで、装置に慣れた社員が、他の社員を

COMPANY PROFILE

- 業 種 運送業
- 事業内容 運送事業、廃棄物処理事業、倉庫業務、清掃業務
- 創 業 1979年4月
- 代 表 者 代表取締役 沖島由二郎
- 所 在 地 川崎市宮前区水沢 1-1-1
- 従業員数 80名

<https://www.khs-unso-s.co.jp/>



フォローすることにより社内のコミュニケーションが増え、プライベートのことも含めて話すようになり社内の雰囲気は良くなり風通しが良くなるなど波及効果もみられました。



パソコンと連動しデータ化

そこから業務に関する打合せも盛んになり、ベテランのドライバーから若手への永年の経験による感覚的なノウハウについてのアドバイス、運行ルートに関するアドバイス、気をつけなければならない注意事項などのノウハウの共有が行われ、それがさらなる生産性向上につながりました。

また、作業時間削減で余裕が生じたことにより、例えば燃費ランキングを行いエコドライブについての議論が深まるなど、社内新しい変化や取組を促すような機運が高まっています。

パソコン連動アルコールチェッカー導入による効果

レシート貼り付け作業の削減時間数

1時間削減/日×26日/月 = **26時間**

確認作業の削減時間数

0.5時間削減/日×26日/月 = **13時間**

印字（感熱ロール紙）の削減金額

年間あたり1,680円 - 140円 = **1,540円**

成功要因

もともとペーパーレス化という大きな目標のための合意形成が得やすかったこと、機器導入時にパソコンを使用したデータ管理による効率化を念頭にメーカーの担当者との議論を重ねるなど綿密な準備を行った点。

今後の展開

タイムカードを使用している勤怠管理や点呼記録簿など紙ベースで行っている業務も残っており、それらの管理もデータ化できるようにシステムを導入し、ペーパーレス化と効率化を進めます。運送業、清掃業、警備業と部門が多岐にわたっており、経理面での管理を簡素化するため経理業務のIT化も同時に進めて参ります。

私自身は新しいものに対する違和感がなく、積極的に導入してきました。社員に還元したい、働いている人に良い環境を提供したいという思いが強く、従業員とのコミュニケーションを大事にしています。

今後は削減できた時間を有効に利用し、社員の負荷を軽減する更なる効率化を模索していきたいと思っています。また、ペーパータイプのアルコールチェッカーを使っている同業他社に対して、書類の保管や手間が減ること等の使いやすさについてアピールしたいと考えています。新しい機種を導入する場合、川崎貨物事業協同組合に加入することで情報を得ることができ、ITに関する相談や働き方改革に関する講習会を受けることもできます。助成金を活用してアルコールチェッカーを用いることで、生産性向上につながるよう横展開していきたいと考えております。

代表取締役 沖島 由二郎

